

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学校名 周南市立和田中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>

☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 746 - 0103

山口県周南市大字埵 2 1 5 - 1

E-mail wadachu@shunan.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 11 名 女子 12 名 合計 23 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

### 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「身近なところから取り組もう」を活動テーマとして、E S D を地域の良さを発信する機会と捉え、E S D の実践を通して持続可能な社会づくりの担い手としての自覚の育成を目標とした。

具体的には、地域伝統芸能継承活動（三作神楽）、地域探訪（和田学のすすめ）、地域ボランティア、書き損じ葉書の回収を柱に、①三作神楽に係わる教育、②地域探訪に係わる学習、③地域ボランティアに係わる活動、④書き損じ葉書の回収に係わる活動を行った。

#### ① 地域伝統芸能継承に係わる活動

本校区内には、国指定無形民俗文化財に指定されている三作神楽という伝統芸能が伝承されている。少子高齢化・若者の流出に伴い、継承者の減少が課題であった。そこで、総合的な学習の時間の一環として、学校の授業の中で伝承活動に取り組むこととした。保存会の方に週に一度来校していただき、

舞や楽を直接教わり、市音楽祭や文化祭等で披露している。また、地域で開催される式年祭にはボランティアとして参加する生徒が増えた。

## ② 地域探訪に係わる学習

「和田学のすすめ」と称し、地域の文化や生活習慣などを調べ、記録し、伝承することをめざしている。また、調べたことを地域内外の人に伝え、地域の良さを発信する「和田ガイド」にも取り組んでいる。

## ③ 地域ボランティアに係わる活動

少子高齢化・過疎化が進む中で、地域の行事には中学生のボランティア活動は欠かすことができなくなっている。中学生は地域から必要とされていることを感じ、同時に地域の方や地域の良さを知る機会になっている。また、この活動を通して、生徒の自己肯定感も高まっている。

## ④ 書き損じ葉書の回収に係わる活動

自分たちで地域のいろいろな場所に書き損じ葉書の回収ボックスの設置をお願いし、回収活動を行っている。設置のお願いの際には、書き損じ葉書を回収する目的を説明するため、自分たちがしていることが世界の人のためになっていることを感じている。地域の方も協力的で、中には定期的に回収させていただいている企業もあり、自分たちも地域の方に支えられていることを実感している。



① の写真（キャプション）



② の写真（キャプション）



③ の写真（キャプション）



④ の写真（キャプション）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 放課後や休日 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

三作神楽のパンフレット 楽しもうわだ!!のパンフレット
--------------------------------

### ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのよう

に位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200～300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間の中に、三作神楽伝承活動・地域探訪「和田学のすすめ」を位置づけている。

三作神楽伝承活動については、地域の保存会の方を講師として招き、指導していただいている。また、その成果を地域内外に披露している。

地域探訪「和田学のすすめ」は、事前事後の学習も踏まえ、和田ガイドとして学んだことをポスター等を通じて発信している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

地域伝統芸能伝承活動に小中合同で取組み、年間の時間設定をしている。また、地域調査のカリキュラムを、小中で連携して作成している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

生徒、保護者、コミュニティスクールのメンバーを対象とした学校評価の中に、ユネスコスクールとしての活動も位置づけし、周知を図っている。また、ESD パスポートを使用することで、生徒のボランティア活動に関する意識が高まり、積極的に参加するものが増えた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ユネスコスクールの活動の発表が県大会でできた。その際に来場されていた方が学校へ書き損じ葉書を送ってくださり、生徒たちは自分たちの活動の自信につながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域コミュニティとして、三作神楽保存会の方やコミュニティスクールの方との連携を図り、学習活動を進めている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在、他団体と交流を図っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

地域伝統芸能伝承活動や地域探訪では、改めて自分たちの住んでいる地域の良さを感じるようになった。それを発信することで、地域の方からも喜ばれている。また、地域ボランティアでは自己肯定感の高まりを感じるようになった。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

三作神楽伝承活動、地域探訪「和田学のすすめ」、地域ボランティア、書き損じ葉書の回収、平和の鐘を鳴らそうキャンペーン参加、地域防災参加などを計画している。